

優秀賞

東京都 建設局

新交通日暮里・舍人線建設事業(日暮里～見沼代親水公園)

表彰事業名	新交通日暮里・舍人線建設事業 (日暮里～見沼代親水公園)		
表彰対象者	東京都 建設局		
都 市 名	東京都荒川区、北区、足立区	事 業 主 体	東京都
事 業 概 要	<p>新交通日暮里・舍人線沿線は、東京都区部北東部に位置し、都心に近接した地域でありながら、公共交通網の整備が十分とは言えない“交通不便地域”であり、また、地域の主要道路である放射第11号線（尾久橋通り）は、道路交通渋滞が日常化し、その解消が急務となっていた。このため、本路線の整備により交通不便地域の解消、交通渋滞の緩和、沿線地域の新たなまちづくりの誘導などを目的として整備を進めてきた路線である。</p> <p>本事業は、荒川区の日暮里駅を起点として、足立区の舍人地区に至る延長約9.8kmの新交通システムである。本路線は、平成9年12月に工事に着手し、平成20年3月に開業した。軌道部は、全線複線の高架構造で周辺の環境と調和したデザイン・色彩とし駅舎部は高架2層構造で3階がホーム、2階がコンコースとなり、誰もが安心して利用出来るようにエスカレーター・エレベーター等を全駅に設置している。また、開業に合わせ沿線区でも街づくり事業（交通広場・駐輪場整備等）を進めてきた。</p> <p>○事業延長：約9.8km ○幅員：7.5m ○事業費：約869億円 ○事業期間：平成9年度～平成19年度</p>		
表彰理由			

本路線の開業により区部北東部の交通不便地域の解消が図られるとともに、道路混雑の緩和や近接する鉄道路線の混雑緩和にも寄与したことが高く評価された。

また、新交通の整備に併せ、交通結節点となる駅で交通広場や駐輪場の整備が図られたことにより、地域の交通利便性の飛躍向上や、沿線地域の新たなまちづくりの誘導にも大きく寄与したことが高く評価された。

